

九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)シンポジウム

感染症と生きる

コロナから学ぶ 持続可能な社会とは

2020.9.2 **水** - 9.3 **木**

|会場| **椎木講堂** (九州大学伊都キャンパス内)

オンライン
開催
参加無料

プログラム
同時通訳有

9.2 **水**

- ・開会挨拶 久保 千春 機構長(九州大学 総長)
- ・特別講演 Mark Harrison 教授 (Faculty of History, University of Oxford)
- ・招待講演 Enos Tange Arung 教授 (Faculty of Forestry, Mulawarman University)
- 大本 晶之 執行役員 次世代事業開発本部長 (丸紅株式会社)
- 五箇 公一 室長 (国立研究開発法人国立環境研究所
生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価・対策研究室)
- 是澤 優 本部長 (国際連合ハビタット福岡本部)
- 山本 太郎 教授 (長崎大学 熱帯医学研究所 国際保健学分野)
- ・閉会挨拶 荒殿 誠 副機構長(九州大学 理事・副学長)

* 聴講者は原則、オンラインでの参加とさせていただきます。

9.3 **木**

【AM】異分野融合セッション

セッションA: キーワード 「教育」
セッションB: キーワード 「生活」
セッションC: キーワード 「経済」

【PM】国際テレカンファレンス

「アジア・オセアニア地域におけるコロナ対策の現況」

・若手企画

「私たちのWith/Postコロナ: 新たな社会ニーズに対応した
次世代研究ロードマップ~分野を超えて次世代研究者が考える~」

|申込方法| お申し込みはこちら▶



[日本語申込フォーム]



[application form in English]

お問い合わせ先

九州大学Q-AOS事務局
E-mail ▶ aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp

HP ▶ <http://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

